

要 請

東京高等裁判所 御中
裁判官殿

ゴビンダ・プラサド・マイナリのネパール在住家族を代表し、下記要請人は、貴裁判所に対し、新たな DNA 鑑定の結果を十分に尊重し速やかに再審開始決定を下すよう要請いたします。

自ら身に覚えのない事件に巻き込まれた無実の者が監獄で味わう苦しみの連鎖をこれ以上繰り返さないよう、どうかその心を傾けて下さることを切に願っております。

民主主義が行き渡り、科学的発展の頂点に立つ日本のような国において、21世紀に入ってもなおゴビンダのような無実の人間が苛烈な人生を送らねばならないことを私たちは信じがたい思いしております。

私たちは、貴裁判所が、必ずや私たちの願い、ゴビンダの叫びに耳を傾け、再審を開始して下さるであろうと確信しています。再審開始は、近代日本の開明な社会の声を反映したものとなるでしょう。

裁判所の積極的な一歩が、ゴビンダに正義をもたらすのです。

インドラ・プラサド・マイナリ(兄)

ラディカ・デビ・マイナリ(妻)

ネパール カドマンズにて

2011年8月2日